

やひこ 散歩ノート



株式会社
富士トレーラー製作所

▶ロボットによる溶接工程



弥 彦村工業団地にある**株式会社富士トレーラー製作所(美山)**を紹介いたします。農作物を運搬するトレーラーの製造販売から始まり、現在では畦塗機や整地キャリア等を独自開発し、全国放送のテレビ番組で取り上げられるなど、全国各地で富士トレーラー製品が活躍しています。

創業：1962年（昭和37年）
本社所在地：弥彦村美山 6606 番地
業務内容：農業用機械の開発・製造・卸販売
URL：<http://fuji-trailer.co.jp/index.html>



▲マンタセブン
左右の畦整形部で塗り残し無し！

てはいませんが、実際に農作業されている田んぼや畑に出向き、農家から製品の評価や悩み事を聞いたたり、販売店を通して農家の要望を把握して製品の開発、改良に努めています。こうした研究開発の積み重ねで、富士トレーラー製品には多くの**特許技術**が反映されており、他社にはない製品を作っています。

中でも、畦塗機**マンタセブン**は全国各地で条件を選ばず強固な畦を作ることが可能な機械であるとして高く評価されています。

また、**整地キャリア**は年間約2000台販売され、整地・運搬作業だけでなく、積雪時には除雪作業で力を発揮しています。

特許技術を開発し、農業を支える仕事に興味がある方は、株式会社富士トレーラー製作所の門を叩いてみてはいかがでしょうか。



お話を伺った長谷川常務▲



◀整地キャリア
これからの季節、トラクターの後ろに付いて奮闘する姿が見られると思います。



◀もみがらキャリア
農作業機の中では珍しい**藤色**！

村長席から

今年もまたこの一年を振り返る時期となりました。村民の皆さんもそれぞれにいろんな思いを抱かれていますこと存じます。私は三つのことが特に印象に残っています。

一つは一月の村長選挙、四月の村議会議員選挙です。これからの四年間の村政運営を任せられ、そして一緒に弥彦村を担う新たな議会の誕生で、改めて強く責任を感じたことでした。

二つ目は八月の猛暑でした。新聞社勤務の四十代後半、約一年間シンガポールにある現地法人の社長として勤務した経験があります。その時、乾季のタイで空気が「熱い」という体験をしたことがあります。体温より気温が高くなったときに感じます。

今年旧盆の三日間の暑さはその時と同じでした。にもかかわらずショックを受けたのはシンガポールの時にはなかった「生きているのがつらい」と感じたことでした。わが身の衰えを突き付けられました。

三つ目は秋の収穫期弥彦村の大事なコシヒカリの一等米の比率がわずかに〇・五%と県内で最低となったことです。原因は旧盆の穂の出る一番大事な時期に四十度近くの「熱暑」となったことでした。実は昨年の弥彦村のコシヒカリは県下で最下位の収穫量となっていました。二年続けてのパンチは身に伝えました。来年は弥彦村も村民の皆さんもよい年になることを願うばかりです。どうぞ、よいお年をお迎えください。

弥彦村長 小林豊彦